

建設産業図書館 LSR活動アクションプラン2017 概要

1. 目的

- 建設産業図書館における情報発信機能の強化・拡大を、図書館事務局と広報室が連携して取り組むことにより、当社の情報発信力の向上を図るとともに、一層の社会貢献につなげる

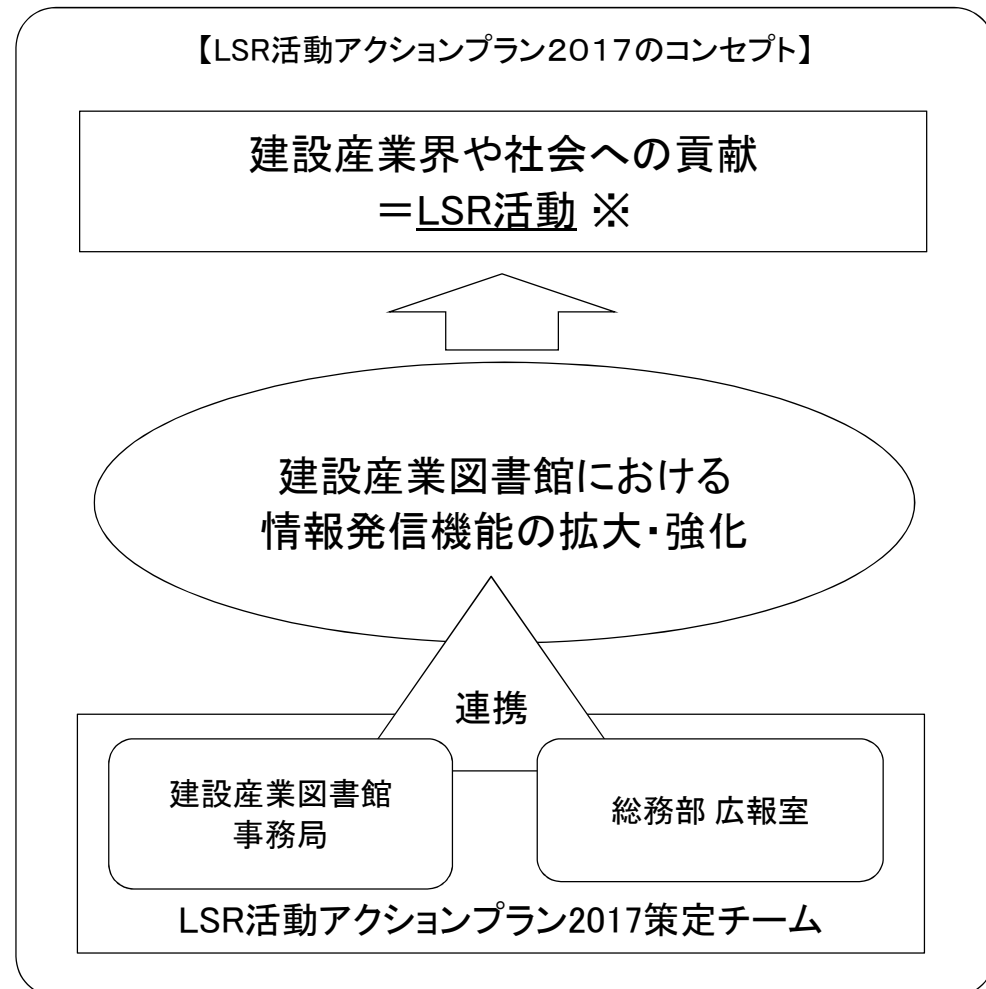
2. 趣旨(背景)

<建設産業図書館>

- ・平成14(2002)年11月、当社の50周年事業記念事業として社会貢献を目的に開設
- ・公共工事の受発注者のみならず広く一般にも公開、これまでの利用者は延5万人超



- ・平成29(2017)年11月に建設産業図書館が開館満15年を迎えるに当たり、これまで以上に社会や建設産業界からの期待や要請に応えられるよう、具体的な施策を取りまとめた行動計画『LSR活動アクションプラン2017』を策定
- ・本プランは、当社をとりまく全てのステークホルダーに対する理解促進を図る必要があることから、図書館事務局と総務部広報室とが連携して実践



3. 具体的取組み

- 「(仮称)建設産業図書館みらいアーカイブ」の創設
 - ・行政庁や業界団体を取りまとめた各種報告書のうち、建設産業界が現在重点課題として取り組んでいる「担い手確保育成」、「防災減災」、「i-Construction (生産性向上)」の3分野の資料を重点的に収集し、Web上で簡単に検索できるよう整理し公開する
 - ・各組織が指針や事業計画を立案する際のデータベースとして広く活用することが期待される

- 「けんせつのでんせつ」の書籍(冊子)化
 - ・「EAST TIMES」に連載中の、「建設にまつわる各地の歴史や習俗をテーマにした紀行エッセイ」建設産業図書館事務局の江口係長が執筆



- パネル企画展の開催やウェブ企画展示のリニューアル
 - ・パネル企画展一例)「EAST TIMES」の表紙候補として撮影した建物や土木構造物の写真展
 - ・ウェブ企画展示－現在の「横浜駅の物語」に続くコンテンツの企画・製作

平成26年10月に開催した「土木女子！」写真パネル展



現在ホームページに掲載中の企画展示「横浜駅の物語」



- 広報誌「EAST TIMES」への図書館紹介記事の掲載(年1回:継続実施)
- 建設産業史研究会会員への「EAST TIMES」の定期送付
- 「EAST TIMES」掲載記事に関連した収蔵図書展示コーナーの設置
- 土木・建築系の学科のある大学や高校、都県建設業協会会員への新刊図書案内の送付
- 「ダムカード」の収集・展示
 - ・ダムカードは、ダムの機能や目的をPRすることを目的として国交省や水資源機構などのダム管理事務所が現地で配布しているカード型のパンフレット
 - ・現在全国で500種類以上が発行され、各種メディアで話題となっている



※LSR活動:建設産業図書館が建設産業界や社会からの期待や要請に応えるために実施する活動

- ・LSR: Library Social Responsibilityの略、CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)に対する「建設産業図書館の社会的責任」を表す造語